

温泉の掘削を開始

筑西会の温泉施設の安全祈願祭が23日、温泉掘削の現場で行われました。

この施設は、敷地面積約8700㎡、建物面積約2000㎡を予定。筑西会の特別養護老人ホーム「ヒューマン・ハウス」の通所サービスと介護老人保健施設「すばる」の通所リハビリ施設を増床し、温泉療法による約100床規模の通所リハビリ施設を目指して建設が始まりました。施設の建物は現在設計中で、木造による温かみのある建物を予定しています。

温泉を掘るやぐらは、高さ約25m。24時間フル稼働で、年内には掘削を完了する予定です。温泉は地下約1500mの深さまで掘削する計画で、噴出する湯量によっては、温泉療法以外のさまざまな活用法も検討していきます。

安全祈願祭には、前場文夫結城市長、臼井平八郎県議会議員、筑西会をはじめとする城西病院グループ、施工会社のジオエンジニアリング、地元自治会など約50人が出席して、工事の安全と早期完成を祈願しました。

多田正毅理事長と岩猿亮ジオエンジニアリング社長の鍬入れに続き、玉串奉てんなどの神事が行

工事の安全と早期完成を祈願



掘削機の始動レバーを引いて機械を動かす多田理事長

われ、多田理事長がやぐらに登り、掘削機のレバーを引いて機械を始動しました。

多田理事長は「前場市長や臼井県議と相談し、温泉を掘ることにしました。宅地で広がりのある場を選び、100人規模のリハビリステーションを作ります。いろんな活用ができ、もっと広がることを願っています」とあいさつしました。

平成26年7月23日



鍬入れの儀を行う多田理事長



深さ約1500mの深さを掘る、高さ約25mのやぐら